

# 防災

8月19日からの豪雨に伴い広島市安佐北区、安佐南区で発生した広島市豪雨災害。災害でお亡くなりになられた方々のご遺族の皆さまに謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。現在も懸命な救援・復旧活動が続いており、海田町からも、8月29日に消防団員5名が広島市安佐南区へ向かい、人命捜索やがれきの撤去などの活動を行いました。31日にも24名の消防団員がボランティアとして参加し、土砂の除去作業などに従事しました。また、9月末現在、町職員12名が避難所での支援助資の運搬や被災者の健康管理などに従事しました。今後も保健師の派遣を予定しており、訪問による被災者の支援を行っていきます。

海田町と海田町社会福祉協議会は8月27日から29日までJR海田市駅で募金活動を行い、たくさんの方々にご協力いただきました。9月12日現在の義援金総額は142万2,438円となっております。日本赤十字社広島県支部を通じて被災者に届けられます。

また、9月2日に、町長が広島市の松井市長を訪問し、100万円を見舞金として広島市に送りました。



▲被災地で活動する消防団の皆さん



▲募金にご協力いただきありがとうございました。

**突然私たちが襲う自然災害。日頃から防災意識を高めましょう。**

## 避難に関する情報の種類

町が発令する避難に関する情報は、次の3つがあり、いずれも町内放送、広報車、緊急速報メールなどで周知します。どの情報が発令されても、平時と比べて災害の発生する危険が高まっている状況にありますので、発令後の気象情報や町から発表される情報に注意が必要です。

種類	内容・状況	取るべき行動(例)
避難準備情報	気象情報などによっては避難勧告や避難指示を行うことが予想されるため、避難の準備を呼びかけるもの。	<ul style="list-style-type: none"> <li>非常用持出袋の準備などの避難の準備を開始する。</li> <li>テレビやインターネットで気象情報を収集する。</li> <li>避難に時間を要する人(災害時要援護者など)は避難を開始する。</li> </ul>
避難勧告	災害が発生する恐れがあるので、居住者に避難所などへの立ち退きを勧め促すもの。(強制力はありません)	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難所や安全な場所にある親類などの家に避難する。</li> </ul>
避難指示	災害発生の危険が切迫したときに発せられるもの。〔「避難勧告」よりも拘束力が強い〕	

## 日頃からの備え

避難所や安全な場所への「避難行動」は、「命を守るための行動」です。水害や土砂災害など、災害によって取るべき避難行動は異なります。自分が住んでいる地区にはどのような災害が発生する恐れがあるか、どのような事象がどのような災害につながるかを平時時から考えておくことは、災害発生時に大変重要な情報になります。

「今まで何もなかったから大丈夫」と思うのではなく、「今まで何もなかったけど、本当に大丈夫なのか」と考え、インターネットやハザードマップなどを利用して平時時から非常用持出袋や避難所について家族で考えましょう。

## 「避難の空振り」を恐れない

避難勧告などの発令は、「空振り」があっても「見逃し」は許されません。これは避難行動でも同じことが言えます。「誰も避難しないから」「今まで何もなかったから」と思って、避難のタイミングを逃すのではなく、「空振り」を恐れず、率先して避難することが「命を守ること」につながります。

「避難したけど何もなかったこと」「命を守ったこと」「今回は、無事に避難すること」が確認できたということとみんなが考え、次の災害に備えることが重要です。

## 町の防災施策

町では、災害発生時の備蓄食糧品の更新や避難所となる施設の耐震化などとともに、避難勧告などの発令基準に関するマニュアルの修正作業を進めています。このマニュアルは、「1時間雨量が〇〇ミリメートルを超えたら避難勧告を発令する」などの発令基準を具体化したもので、町が発令基準を出すための発令基準となるだけでなく、実際に住民の皆さんが避難するための指針にもなります。修正が終わりましたら、速やかに皆さんに周知します。

## 自分の身は自分で守る

海田町消防団 箕越文夫 団長

皆さんは普段から防災のために何か行動していますか？突然襲いかかる災害から自分自身を守るためには日頃から防災に取り組むことが必要です。

まずは、自分の周りの危険な場所を把握してください。ハザードマップを見ることは非常に大切です。災害時にどこが危険なのか、自分はどこに避難すればいいのかなどしっかりと確認しましょう。

そして、防災訓練や自主防災組織も重要です。防災訓練や自主防災組織の活動に積極的に参加することで災害時に必要な判断力も養われます。自主防災組織については、その地域に消防士や警察官のOBの方がいれば、その方たちに引継ぎしてもらえればと思います。経験者が先頭に立つことで活動も活発になっていくと思います。

自分の身は自分で守るんだという意識をしっかりと持ってください。自助の意識を持って行動することで、共助、公助にもつながります。一人ひとりが高い防災意識を持って、日頃から災害に備えましょう。

消防団について詳しくは、海田町生活安全課まで

☎823-9208  
FAX 823-7927

## 意外と役立つ非常用持出袋の中身の例

品名	目的
油性マジック	緊急時の口ソック代わり
歯みがきセット	避難生活中の口の病気を防ぐため
スリッパ	避難時のガラスなどからの足元の保護
食品用ラップ	食器に貼れば、捨てるだけで皿洗いをしなくても衛生的。傷の簡易的な保護にも使用可能